

CT・MRI検査を受ける方が 注意することについて

リハビリテーション・精神医療センター
放射線科 佐々木 和仁

MRI検査とは？

強い磁石と電波を使って体の中を写真に
して診断できる検査です。



MRI検査で注意すること

強い磁石と電波を使って検査し
ておりますので次のことに注意し
て下さい。

金属類

- ・ 指輪・イヤリング・ネックレス・時計
めがね・ヘアピン・小銭など

☹️ 装置の中に吸い込まれ取り外せな
くったり、怪我をすることがあります。

磁気カード類

- ・ キャッシュカード・クレジットカード
テレホンカード・診察券・定期券

☹️ 記憶された情報が消えて使用できな
くことがあります。

衣類

- ・ 下着のホック・チャックの付いたもの
ベルト・金具の付いたボタンなど

☹️ 金具のついた衣類は、肌に直接触れ
ていると、火傷をすることがあります。

化粧品

- ・化粧品全般
- ・特にアイシャドウ、マスカラ、アイラインラメ入りの化粧品
(金属成分を含むものがあります)

☹️ 熱を持って、火傷をしたり、画像が歪むことがあるためです。

その他、取り外しできる物

- ・入れ歯、義眼、エレキバン、カイロ、コルセット、補聴器、ニトロダームなど心臓の貼り薬など

☹️ 装置の中に吸い込まれ取り外せなくなったり、怪我をすることがあります。

体内に金属類がある方

- ・脳動脈瘤クリップ、金属性の人工関節人工内耳

☹️ 装置からの電磁波により熱を持ったり、磁場に引き寄せられる可能性があります。医師に相談してください。

心臓ペースメーカー



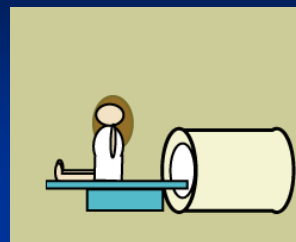
☹️ 誤作動や故障の原因となる場合があるため、検査を受けることは出来ません。

入れ墨 (TATOO)

☹️ 入れ墨に金属の紛を含むものもあるために熱さを感じたり、入れ墨が変色することもありますので医師に相談してください。



狭いところが苦手な方



狭くて圧迫感を感じるかも・・・

大きな音

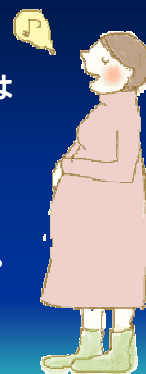


検査中に「ガンガン」という工事現場のような音が聞こえますが、これはMRI特有の共鳴音ですので心配ありません。

妊婦さん

発育中の胎児に対する安全性は完全には確立されておりません。

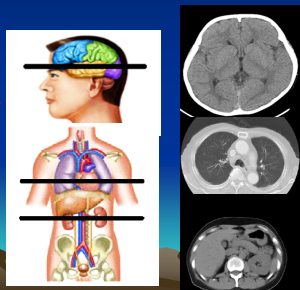
しかし、必要な場合は、妊娠中であっても検査を行うこともあります。医師にご相談ください。



CT検査とは？

X線とコンピューターを使って体の輪切りの写真を撮影し、体の中を診断できる検査です。

X線 →



CT検査で注意すること

検査をするカラダの場所によって注意していただく点が異なります。

あたま、くび（頭部、頸部）

- 通常検査前の飲食は自由です。ただし、「造影剤を使って行います」と医師に言われている場合は食事の制限があります。
- 入れ歯、髪留め、ヘアピン、ネックレス、ピアス等は検査前にはずしておいてください。画像診断の妨げになります。

むね（胸部）

- 通常検査前の飲食は自由です。ただし、「造影剤を使って行います」と医師に言われている場合は、食事の制限があります。
- ボタン、ホック、ファスナー等の付いた衣類は画像診断の妨げになりますので、検査前にはずすか、検査着に着替えて下さい。

おなか（腹部、骨盤腔）

- ・ 午前中の検査の方は朝食を、午後の検査の方は昼食を取らないで下さい。ただし、水やお茶などの水分は飲んでもかまいません。
- ・ ボタン、ホック、ファスナー等の付いた衣類は画像診断の妨げになりますので、検査前にはずすか、検査着に着替えて下さい。

妊婦さん

妊娠中のX線被曝は胎児に影響を及ぼす可能性がありますので前もってお知らせ下さい。



心臓ペースメーカー



- ☹️ 検査できる物とできない物がある
誤作動や故障の原因となる場合があるため
検査を受けることは出来ません。